

坂出・綾歌支部メディア教育研究部会活動報告

1 研究主題

自ら学び自ら考え行動する生徒の育成
～さまざまなメディアを活用し、
主体的に学習する生徒の育成～

2 研究主題について

昨年度より情報教育と視聴覚教育の内容を統合し、メディア教育部会が発足した。メディアの意味するところは広範囲かつ多岐にわたる。現代の高度情報化社会においては、自分の考えや思いをよりわかりやすく表現・交流するためにメディアを利用する機会がますます増えていくと考えられる。このような現状の中、学校においてもその学習内容に適したメディアを活用することで、よりわかりやすい授業実践が求められている。そこで本部会では、さまざまなメディアの活用を通して教職員の指導力向上を図るとともに、主体的に学習する生徒の育成を図りたいと考える。

3 研究の進め方

(1) 研究の概要

各校の授業実践・研究授業・研究討議を通して主題に迫る。

(2) 第1回部会（5月7日 宇多津中学校）

研究組織および研究主題の決定
研究の進め方についての共通理解

(3) 第2回部会（6月26日

坂出東部中学校）

研究授業

授業者 山地 茂，佐藤 隆之

実践発表 各校におけるメディアを活用した授業実践の紹介

4 研究と実践

(1) 第2回部会での研究授業について

単元名 Unit 4 日本大好き

（下の写真は研究授業で

スライド教材を提示する場面）



本単元における主張点

写真をスライドにし、プロジェクターを使って拡大して見せることで生徒の視覚に訴え、学習意欲を喚起することができると考えた。

討議内容

メディア機器を授業に活用した経験はなく、写真をスライドにすることが難しかったが、本時の授業で初めて活用し、生徒が学習に意欲的に参加できた。

（授業者より）

教材提示装置があれば、生徒の作品などを簡単に拡大でき、分かりやすい授業、おもしろい授業が構築できる。各校で、数台ずつでも設置してもらいたい。

（部会員より）

動画を映したり、英語の単語をプロジェクターで見せたりするなど、アイデアしだいで生徒は意欲的になれる。時間がないから使わないとか、持ち運ぶのが厄介なので使わないというのではなく、メディア活用の有効性を実感して分かる楽しい授業づくりをするために、各教科でメディア機器をもっと活用していくべきではないか。

（指導者より）

学習指導過程一部

形態	学習活動	予想される生徒の反応	指導・支援と評価
一斉	2 基本文を学習する。 (1) T・T の会話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクリーンに何が映っているのだろう。 ・ 一部分しか写っていないから、よく分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクターで写真を提示し What is this? という問いに対して答えさせる。 ・ T・Tの教師による会話モデルを示し、What を含む文を聞き取らせる。
ペア	(2) 基本文に慣れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「What」はどういう意味なんだ。 ・ 友だちと練習してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ What を含む文を繰り返し練習させる。 ・ うまく練習できていないペアを個別指導する。

(2) メディアを活用した実践例

ア 興味・関心を持たせる場において



(「エネルギーと環境」の授業おける

『世界の温暖化の危機』(アル・ゴア)の映像)

実践例 1 最新のTV映像や新聞記事をプロジェクターで見せる。

最新のTV映像や新聞からの情報を、プロジェクターを使ってタイムリーに見せることで興味・関心を高め、生徒が主体的に学習することができた。

イ 知識や技能を習得する場において

実践例 2 顕微鏡と実物投影機をつなぎ、確認しながら見せる。

実践例 3 生徒のノートを提示する

実践例 4 前時の復習や本時のまとめとしてスライド教材で提示する。

授業では毎時間のようにスライド教材

を使用しており、知識や技能を習得するのに効果的であり、次の活動への意欲化につながっている。メディア機器を1回だけ使用するのには大きいエネルギーを必要とするが、毎日、継続的に使用すれば比較的楽に行える。

ウ 知識や技能を活用する場において

実践例 5 校内宿泊学習での天体観測の前にスライド教材で確認する。

実践例 6 連続した天気図から次の日の天気を予想する

夏の大三角を知識として知っていても、夜空で捜し当てることは難しい。天気用図記号の知識はあっても、天気図から次の日の天気の予想をするのは簡単なことではない。スライドで映像としてイメージ化することで、知識や技能を主体的に活用していく手だてとなることが実証できた。

4 今後の課題について

各教科の授業や学校行事など、その目的・用途に応じて、メディア機器が利用できるようにしたい。そこで今後は、主体的に学習する生徒の育成をするために、デジタルコンテンツや放送番組等の教材を有効に活用するための研究を進めていく必要がある。